熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.805
July 2023
7

CONTENTS

- 巻頭言（会長　伊藤 明彦）…… 3
- 理事会報告…… 4
- センターだより …… 6
- 学院だより…… 7
- 報告…… 8
- 郡市会報告（宇土郡市、人吉市）…… 11
- 歯と口の健康講座…… 12
- リレー投稿㉙…… 15
- 熊歯乙女のひとりごと㉚…… 16
- 新入会員 …… 17
- 会務報告・お知らせ …… 18

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

６月10日（土）午後１時から県歯会館にて、歯と口の健康週間事業「歯の祭典」が開催された。糖尿病内科の西田亙先生の講演のほか、高齢者のよい歯のコンクールでは県知事表彰・8020優秀賞の表彰式、くまもと歯の健康文化賞では２団体が受賞となった。歯の祭典の内容は来月号にて紹介する。

（H・M）

再任のご挨拶

会長　伊藤 明彦

この度は、熊本県歯科医師会会長職に３期目の再任を頂きました。心より感謝申し上げますと共に、身の引き締まる思いです。

本年５月より、新型コロナウイルス感染症は５類感染症へと変更されました。このことに伴い、「不要不急の外出自粛」や「営業時間の短縮要請」などこれまでなされてきた行政からの行動制限などの要請はできなくなり、また「マスクの着用」などの基本的な感染対策についても個人の判断で行うよう考え方が転換されることとなりました。しかしながら、医療従事者としては、これまで通りの盤石な標準予防策を徹底する必要があります。また、歯周環境の悪化が感染症リスクを増加させることを踏まえ、口腔衛生管理という責務を全うしていかなければなりません。その為、会員の先生方やスタッフの皆さんには、継続してご尽力をお願い致します。

昨今、政府はICT化を促進しており、健康保険証の廃止やオンライン資格の確認につきましても、会員の先生方には多大なるご負担をおかけしています。さらに、キャッシュレス化を推し進める動きが加速してきております。公定価格は政府が決定しますが、保険診療を行っている我々歯科医師は物価上昇などの諸般の事情によって価格を報酬に添加することができません。そのために、カード使用時の手数料など追加費用がかかり、各歯科診療所では大きな負担となっていくと思われます。これらのように物価上昇やキャッシュレス化など経営に即時に影響のある事項につきまして、日本歯科医師会に今後も対応をお願いしていくと共に、会員の先生方に迅速かつ的確な情報収集、情報発信を心がけていく所存です。

また、地域包括ケアの観点からも今後、歯科医師不足が懸念され、歯科医師国家試験・歯科医師偏在の在り方についても検討が必要です。同様に、歯科衛生士・歯科技工士の需給問題・学校の定員割れについても早急な検討がなされるべきです。歯科領域におけるタスクシフトにつきましても、歯科衛生士・歯科技工士の業務範囲の拡大なども視野に、厚労省・大学や専門学校などの教育機関・各教育協議会・学会と協力し、学校教育並びに既卒者への卒後教育の充実について考えていかなければなりません。猶予なく進むように、日本歯科医師会に求めていきたいと思います。

最後になりましたが、今期の活動ではこれまで成し得なかった事業に対しても、会員の先生方のご意見・ご要望をしっかりとお聞きし、県民のため、会員の先生方並びにご家族、スタッフの方々のために積極的に職務に邁進して参りたいと思っております。新執行部・事務局一丸となって泰然自若に執行して参りますので、ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

理事会報告

現執行部も残り１ヵ月

― 第25回理事会 ―

５月24日（水）午後７時より県歯会館において伊藤会長他17役員、増田・水上監事出席のもと開催された。

１．開会：牛島専務理事
２．挨拶：伊藤会長

現執行部の理事会も残り１回となりました。さて、皆様はブランドにどのようなイメージをお持ちでしょうか。品質が良い、歴史がある、高級感などのイメージがあると思います。そして車であればメルセデス・ベンツが、ブランド力があると言えます。ベンツは、創始者であるゴットリーブ・ダイムラーとカール・ベンツによって造られました。ダイムラーは「最善か無か」（最善を尽くさなければ無と同じ）という信念のもと、顧客の為に品質と安全に優れた最高水準の車を目指しました。一方のベンツは「発明への情熱は決して消えることは無い」と技術者としての強い意志と情熱を持って、車作りに取り組みました。そうして二人は素晴らしい車を世へ送り出しました。ブランドはそうした過程を経て創り上げられます。それでは、歯科衛生士ならばどのようにブランドが創り上げられるのでしょうか。まず歯科衛生士になる、次に良い歯科衛生士を目指す、そして多くの情報を得て誰にも負けない歯科衛生士になるという過程があります。さらに、患者さんが幸せになる為に情報と技術を活かせる歯科衛生士が、ブランド力を高めることができます。また、誰かの為にすることはブランド力の重要な要素です。我々も県民と会員の為に最後まで情熱を持って邁進し、次期執行部へ引き継ぎましょう。

３．議長選出：伊藤会長
４．議事録署名人：増田・水上監事、
　　伊藤会長

５．会務報告：
（自：４月24日～至：５月21日）
本会総務：理事会、常務理事会
地域保健Ⅰ：地域保健委員会Ⅰ
地域保健Ⅱ：地域保健委員会Ⅱ
広　　報：『熊歯会報』６月号の校正
学校歯科：学校歯科委員会
医療対策：医療相談・苦情事例報告
センター・スペシャルニーズ：日本障害者歯科学会モデル事業担当者連絡会
厚生・医療管理：歯科衛生士会との意見交換会
学　　院：学院学校評価委員会・教育課程編成委員会
国保組合：国保理事会
以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：
１．退会会員
・髙木 信一郎 会員（第３種／エクセル歯科医院）令和５年３月17日　退職
・松田 智也 会員（第３種／せき歯科クリニック）令和５年４月30日　退職
２．３月末がん及び回復期の医科歯科連携事業
３．４月末会計現況
４．歯科口腔医療勉強会
5/8開催の歯科口腔医療勉強会に牛島専務理事が県歯連盟理事長として招かれ、講演されたことを報告した。

5．代表歯科医の変更
　村田 英俊 会員（第４種／くるみ訪問歯科クリニック）令和５年３月１日

7．連絡事項：
1．６月行事予定
2．７月以降の行事

8．承認事項：
1．新入会員の承認【承認】
　第１種会員４名の入会を承認した。

第１種

氏　名	医療機関名	住　所	出身大学
池松（いけまつ）　恵実（えみる）	フラワー歯科こども歯科クリニック	熊本市西区春日7-21-3	鹿児島大学
新中須（しんなかす）　剛（つよし）	新中須歯科医院	熊本市西区横手3-1-22	北海道医療大学
中西（なかにし）　正光（まさみつ）	熊本サニースマイル矯正歯科	熊本市中央区安政町6-2クオリア安政町4階	東京歯科大学
松田（まつだ）　智也（ともや）	まつだ歯科クリニック	合志市須屋2972-1	広島大学

令和５年度入会状況（５月末）
第１種／７名　第２種／１名　第３種／２名

9．議題：
1．関係機関団体への会費等の納入【承認】
①赤十字活動資金／日本赤十字社熊本県支部
②令和５年度会費／熊本県社会保険委員会
　会費等の納入を承認した。
2．歯周病啓発チラシ【承認】
　歯周病予防に関する啓発チラシの作成を承認した。
3．熊本県歯科医師会諸会議及び委員会規程の見直し案【承認】
　規程の見直し案を承認した。
4．熊本県歯科医師会口腔保健センター規程の見直し案【承認】
　規程の見直し案を承認した。
5．定時代議員会の議案【承認】
　議案を承認した。
6．定時代議員会の会務報告【承認】
　会務報告を承認した。
7．祝賀名刺広告【承認】
・熊本日日新聞
　名刺広告の掲載を承認した。
8．保存期間を経過した文書の廃棄【承認】
　文書の廃棄を承認した。
9．医科歯科病診連携事業（がん連携）【承認】
　今後、がん連携に関する新規事業を県へ提案することを承認した。
10. 九州老年歯科フォーラムの開催依頼【承認】
　開催に協力（開催費用や人員）することを承認した。

10．協議事項：

11．監事講評：
　増田監事より「現執行部の任期満了まで残すところあと１ヶ月となった。理事の皆様は、任期最後までPassion（情熱）を胸に、事業をやり遂げてほしい。」、水上監事より「伊藤会長が日歯代議員としてどのような活動をされているか、日歯広報に掲載されているので今後もしっかり読んで把握してほしい。」と述べられた。

12．閉会：椿副会長

（広報　神﨑 理子）

県歯メールニュースに登録しませんか？

毎月21日頃配信

最新講演会情報をお知らせ！
URLから講演会への申し込みが簡単に！
この機会に是非登録を☞

センターだより

各地区の状況を聞き取り

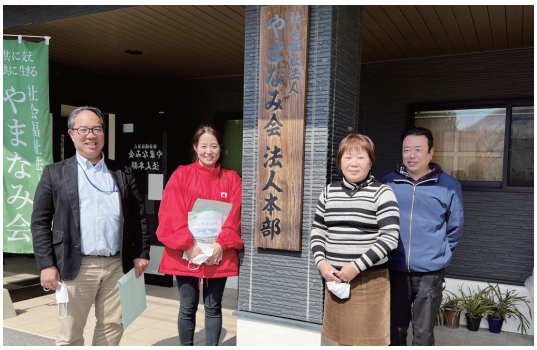
― 障がい児（者）施設訪問とヒアリング ―

令和５年３月に、県内の障がい児（者）の施設や施設利用者の現状やニーズを明確化し、それに応えるための計画を立てる事を目的とし､センター･スペシャルニーズ委員（歯科医師）と口腔保健センター職員（歯科衛生士）で施設訪問を行った。

訪問先は、県から紹介された施設で、阿蘇圏域２件、山鹿圏域２件、熊本市２件、上益城圏域２件の計８件の障がい児（者）施設を委員で分担して訪問した。

事前に、ヒアリングシートを施設に届け、施設職員に記入してもらい、訪問当日は、シートを基に聞き取りを行った。シートの内容は、利用者へのブラッシングの取り組み内容や仕上げ磨き時に使用しているケア用品（歯ブラシや歯間ブラシ等）について、また歯磨きの時に困っていることや相談する歯科医療機関の有無、歯磨きの実地指導希望の有無、歯や口腔状態の把握の有無、歯科医院受診状況、定期健診の頻度、そして歯科受診で困っていることや口腔保健センターの周知状況、静脈内鎮静法下での歯科治療の実施の周知状況等である。

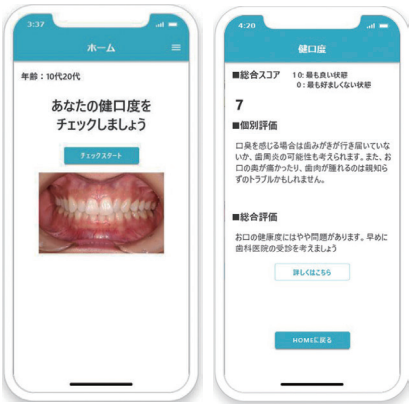
ヒアリングの結果、どこの施設も歯磨き時に困っていることが分かった。具体的には、「十分に口を開けてくれない」「じっとしてくれない」「適したケア用品が分からない」「施設職員へ口腔衛生指導をして欲しい」などの希望があった。また訪問歯科を利用している施設が多く、「歯科医院へ連れて行くのが大変なので訪問歯科があると助かる」と言った声もあがった。通院困難な方の為にも訪問歯科は重要だと思った。「口腔保健センターでの障がい児（者）歯科診療の事は分かってはいたが、遠方からセンターまで通院するのは大変だ」と言う意見もあった。地域の歯科医院でできる治療は地域で行えるようにしていくことが、今後重要な課題であると感じた。



このメンバーでは阿蘇圏域を担当

今回、障がい児（者）施設を訪問して現場からの声も聴くことができ、実際の施設の状況も見ることができて大変有意義な時間を過ごせた。

（口腔保健センター　三笘 貴司）



日歯がアプリ「健口チェック」を公開

１分程度の簡単な質問に答えるだけでお口の健康度が分かる「健口チェック」アプリ

App Store　　Google Play

（日本歯科医師会広報課　TEL：03－3262－9322）

学院だより　歯科衛生士を知ってもらうために

― 中学・高等学校教員向け三校合同説明会 ―

５月29日（月）午後１時30分より、県歯会館で標記の説明会が行われた。

この説明会は、熊本県からの歯科衛生士確保対策事業の一環として実施され、県内の歯科衛生士不足による人材確保の課題に対処するため、県内の歯科衛生士養成校３校が協力し、歯科衛生士を目指す生徒の増加を図るために開催された。

今回は、中学・高等学校教員向けで、学校行事の多忙な中、14校15人の参加をいただいた。

開会後、東学院長からの挨拶の後、野中副主任からは歯科衛生士の業務内容について、弘中副学院長からは主な就職先や福利厚生などについて説明があった。

その後、紫藤係長からは、多くの歯科医院が登録しているインターンシップ事業や、県歯科衛生士会と学院同窓会が作成した「自分らしく輝きを叶える」というリーフレットについて説明があった。このリーフレットには５人の先輩歯科衛生士へのインタビューが含まれており、将来像をイメージするために生徒の皆様にぜひご覧いただきたいと紹介を行った。

最後に、学校法人中島学園熊本歯科技術専門学校、九州看護福祉大学口腔保健学科、熊本県歯科医師会立熊本歯科衛生士専門学院の順番で、県内の歯科衛生士養成校の紹介が行われた。

質疑応答では、「インターンシップでは生徒がどのような体験をすることができるのか？」「歯科衛生士の平均的な賃金はどれくらいですか？」「各校で独自の奨学金制度などは検討されていますか？」などのご意見をいただいた。

今後も学生募集に向けて、歯科衛生士の職業周知を継続的に行っていきたい。

（学院課　紫藤 美香）

挨拶をする東学院長

中学・高校から多数の教員が参加

野中副主任による歯科衛生士の業務内容についての説明

報　告　がん医科歯科連携アンケートの集計結果について

～周術期等口腔機能管理が評価される～

日頃よりがん医科歯科連携事業に御協力いただき、ありがとうございます。

今年３月に実施しましたがん医科歯科連携のアンケートにつきまして、多数の先生からご回答いただき、感謝申し上げます。

歯科より77人、医科の関係者より78人から回答をいただきましたのでご報告いたします。

アンケートの集計結果につきましては、ページ数の都合上、省略させていただきます。県歯ホームページに掲載いたしましたので、下記のQRコードより読み取ってご確認ください。

【QRコード　結果（医科、歯科、2017年との比較）】

（読み取り後は会員専用ページの
ＩＤ、パスワードの入力が必要です。）

がん連携をすることで、医科からは

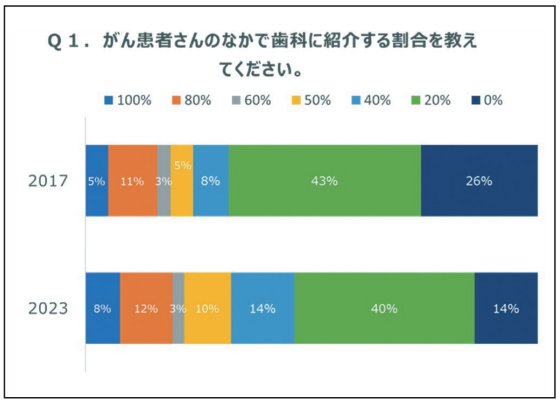
・術後合併症が減った
・早期リハビリが可能になった
・化学療法の完遂率・継続率が上がった
・いつもすぐ診てもらうので助かっている
・積極的に進めるべき

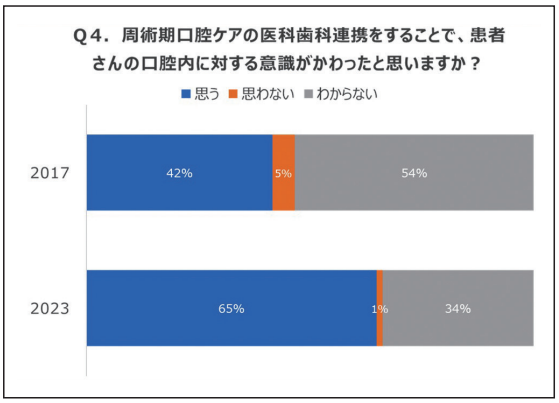
など、高い評価を受けている。一方で

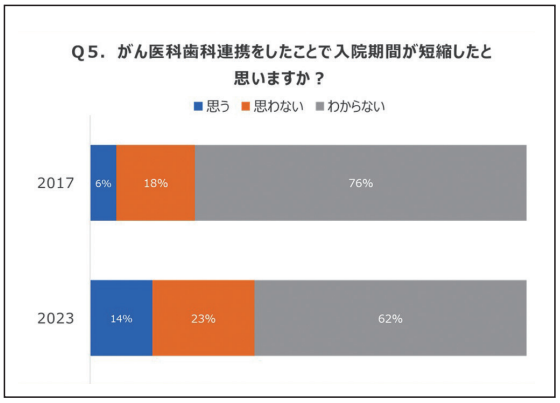
・かかりつけ歯科医が対応していないことがある
・紹介状に対する返書を確実に書いてほしい

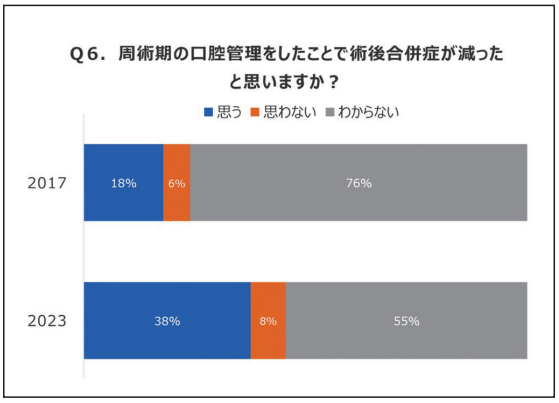
等要望があった。

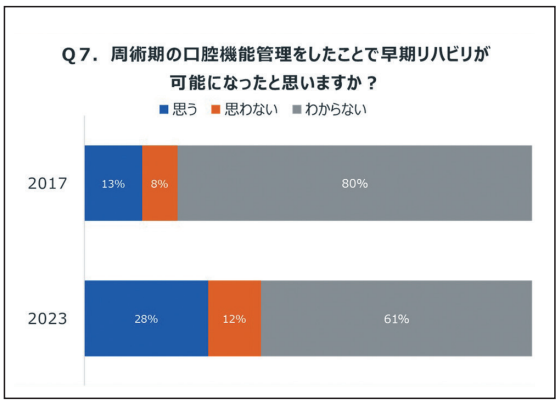
※2017年との比較のグラフ

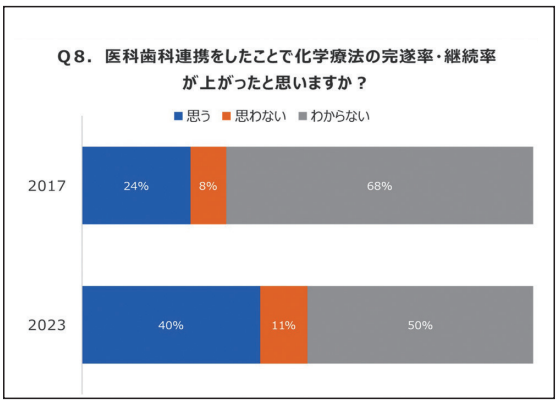












平成29年に行ったアンケートと比較し、

・医科から歯科に紹介する割合（50％以上紹介する）　［24％→33％］
・口腔ケアをすることで患者さんの口腔内に対する意識が変わったと思う　［42％→65％］
・連携により入院期間が短縮したと思う　［６％→14％］
・周術期の口腔機能管理をしたことで術後合併症が減ったと思う　［18％→38％］
・周術期の口腔機能管理をしたことで早期リハビリが可能になったと思う　［13％→28％］
・医科歯科連携をして化学療法の完遂率・継続率が上がったと思う　［24％→40％］

それぞれ上がっていました。このように医科から効果があると評価されているのは、連携をして周術期の口腔健康管理をしていただいた結果です。

歯科からは

・セルフケアの向上が見られた
・患者さんからの信頼を得られた
・患者さんが明るくなった
・がん治療が身近になった
・医科歯科連携を身近に感じる

など、医科・歯科・患者さんに良い結果が出ていると思われた。

一方で、要望として

・患者さんが来院してから手術や化学療法・放射線療法までの期間が短く対応に苦慮する

といった内容の要望が最も多く、他に

・口頭のみで受診するよう説明されて受診した
・診療情報提供書を必ず出してほしい
・退院後も継続した口腔健康管理に通うように告知をお願いしたい

といった要望があった。

また、患者さんへの対応に困った点として

・紹介状を早めにもらっているのに患者さん自身がすぐに受診されない
・ターミナルになった時の対応に苦慮する
・患者さん本人が歯科受診を嫌がっていた
・がんの病気であることを歯科に知られたくなかった
などがあった。

病院関係者に対して手術が決まり次第なるべく早く歯科受診につなげてもらう様お願いしているところですが、病院側もいろいろな検査をした上でがんの診断がついて、患者さんへの告知や治療（手術・化学療法・放射線療法）の説明・手配など、日程的に大変苦労されているのが実状です。なので、歯科側が臨機応変に対応することが患者さんのために必要だと思いますので、大変かと思いますが対応いただきますようお願いしたいところです。

またＱ13ですが、40％が術後に口腔機能管理を継続していただいており、今後も増やすための対策を検討する必要があります。患者さんに「術後の口腔機能管理も大切です」と説明することが重要かと思います。Ｑ14の「私のカルテ」の歯科のページへの記入についてですが、66％が患者さんの提出が無いようですので、患者さんに提出を促し、是非記入をお願いします。

本事業は今後、術後や治療後における口腔健康管理の継続を増やす、緩和ケアにおける医科歯科連携の推進、在宅療養における医科歯科連携の推進と課題がありますので、がん医科歯科連携をさらに進めるために継続する必要があります。委員会の改編により、医療連携委員会は地域保健・学校歯科委員会に統合されます。それに伴いがん医科歯科連携事業は地域保健・学校歯科委員会が担当になります。これまでのご理解・ご協力に感謝申し上げますと共に、今後もご協力いただきますようお願いいたします。

（理事　三森 康弘）

宇土郡市歯科医師会

久しぶりに会場での総会

― 通常総会 ―

４月１日(土) 午後４時より宇土市「くま井」にて通常総会が行われた。開会の後、物故会員(森一先生) への黙祷が行われ、八木会長挨拶、会務報告、県歯臨時代議員会報告、県歯国保組合・各種委員会報告が行われた。

【議　事】

第１号議案　令和４年度収支決算に関する件・監査報告

第２号議案　令和５年度事業計画案に関する件

第３号議案　令和５年度予算案に関する件

第４号議案　会長選出

上記全案は可決承認、第４号議案では八木会長の再任が承認された。総会後、引き続き「くま井」にて懇親会を行った。コロナ以来、久しぶりの総会・懇親会であり、このままコロナが落ち着いてくれるのを願うばかりである。

顔を合わせて話すことの大事さを再認識

(村田 和子)

人吉市歯科医師会

４年ぶりの開催

― 歯と口の健康週間　無料歯科健診 ―

６月３日(土) 午後２時から午後４時まで人吉市保健センターで開催した。「歯と口の健康週間」に合わせた催しで、新型コロナウイルスや令和２年７月豪雨などによる中止から４年ぶりの実施となった。歯の健診や歯科相談、無料フッ素塗布、高齢者の嚥下力検査、70歳以上で、残存歯が20本以上ある高齢者の良い歯の表彰を行った。また、歯ブラシなどのプレゼントや、フッ素塗布をした子供にはおもちゃなどのくじ引きも催した。

会員が歯の健診や歯科相談を行った

(田中 勝久)

歯と口の健康講座

障がい者の歯科診療

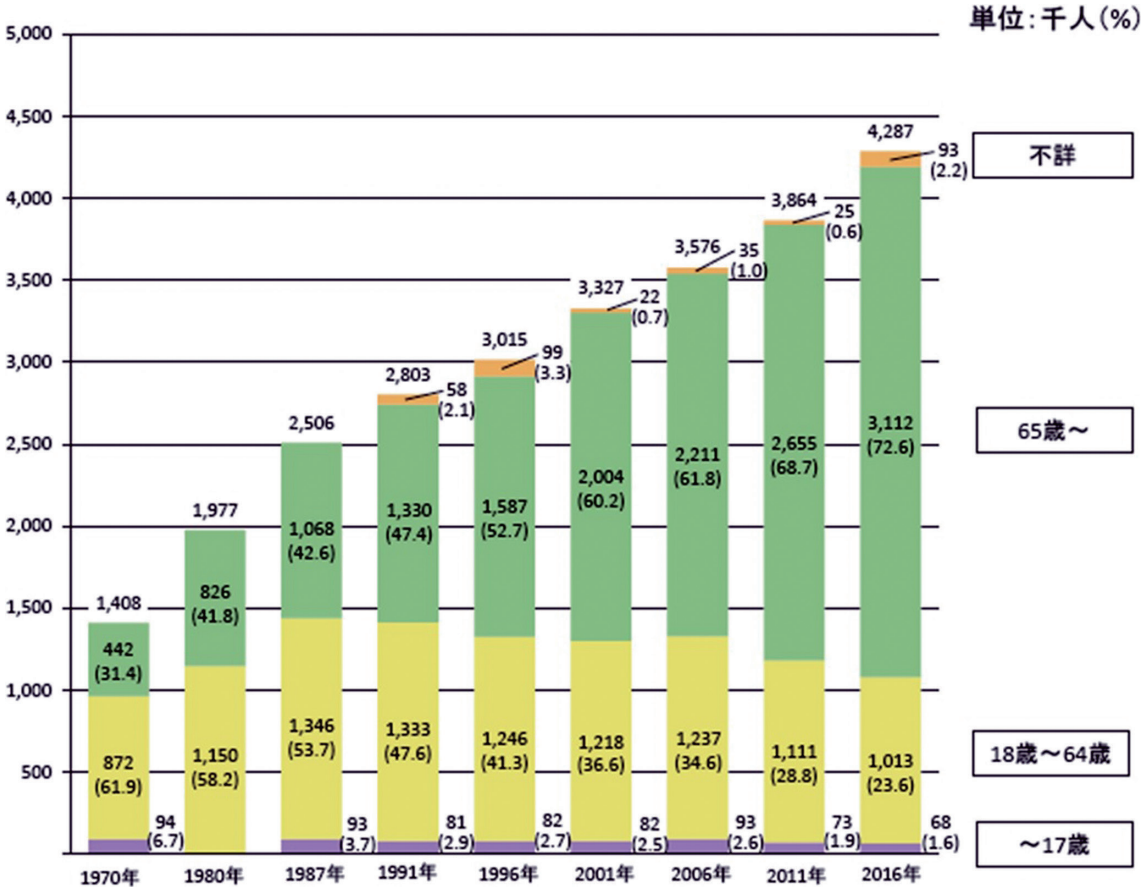
五島　嘉人

障がい者の方とそうでない方の歯科診療、どういう違いがあるのかご存じでしょうか。根本的な違いはありません。ただ、障がい者は知的または身体的なハンディキャップがあるため、口腔ケアが十分に行えず、むし歯や歯周病にかかりやすい傾向にあります。また、遺伝的な要因で歯並びが悪かったり、歯の質が弱かったりして、さらにリスクが高いことが多いのです。

では、障がい者歯科とはどのような方を対象とした歯科診療なのでしょうか。主に以下の方を対象にしています。

・自閉症スペクトラム症などの発達障がい者（児）
・ダウン症候群等の先天性疾患による知的障がい者（児）
・脳性麻痺、筋ジストロフィー症などによる神経運動障がい者（児）
・認知症や統合失調症などの精神疾患者
・人工呼吸器や経管栄養などを必要とする医療的ケア児

現在において、周産期の救急医療の発展により低体重の救命が可能となったり、ダウン症候群等の先天性心臓奇形への外科的治療が進みました。そして、療育・教育・福祉サービスの質の向上により、障がい者の数や高齢者率が増加しました。ただ、需要が増えた中で、その専門性により、診療可能な歯科医院を見つけるのが大変難しいのが現状です。



参考資料　障害者の状況－令和３年版障害者白書（全体版）－ 内閣府

障がい者歯科でもっとも苦労することは、その困難性です。自閉症、統合失調症、認知症などにより、治療の必要性や治療法の理解が難しく、それを伝えることが困難です。また、脳性麻痺、筋ジストロフィー症などにより、治療姿勢や姿勢維持が難しく、治療中に危険をともなうことも

あります。さらには、脳血管疾患、心疾患などで高度な全身管理が必要なこともあります。

我々歯科医師だけではなく、すべての医療従事者において、インフォームドコンセント（説明と同意）は、基本中の基本となります。病状をきちんと説明し、いくつかの治療法を提示して、患者さんに決定同意していただくこと、そのことが障がい者歯科診療では非常に困難となります。どうしてもご家族や付き添いの方（施設職員など）への説明が中心とはなりますが、ご本人への説明が難しくても、文字やイラスト、写真、模型等を用いて、理解していただけるよう努めることが大切だと思います。

では、実際に我々歯科医師はどのように治療を進めていくのか。主に４つの方法をおこないます。

１．行動変容法
２．抑制法
３．鎮静法
４．全身麻酔法

１．行動変容法とは

特殊な器具や器材を用いずに、患者が歯科診療を受け入れられるようにトレーニングを行う最も基本な方法です。

⑴　TSD法

これから行うことを説明し（Tell）、器具や器材を見せて（Show）、説明したことを行う（Do）方法です。行うときに10数えたりするのも有効です。

⑵　オペラント条件付け

良い行動や反応が出来たら、褒めてあげることにより適切な行動に導く方法です。

⑶　脱感作法

刺激の弱いことから始め、徐々に刺激を強くしていき、最終的に歯科診療も受け入れられるようにする方法です。

２．抑制法とは

特殊な器具や器材（レストレーナー）を用いたり、タオル等を利用し押さえたりして、患者の動きを安定させる方法です。保護者や家族への十分な説明同意が必要であり、安易な選択や習慣化は避けるように努めます。

３．鎮静法とは

薬物を用いて、意識下のもとに行う方法です。20％から30％ほどの笑気ガスを鼻から吸入させる笑気吸入鎮静法、静脈内に軽い麻酔を注入する静脈内鎮静法などがあります。

４．全身麻酔法とは

薬物を用いて、無意識下のもとに行う方法です。患者の状態に左右されず、十分な質の治療を行える反面、専門のスタッフが必要であったり、設備の充実した医院でしか行えず、しっかりとした術中管理を必要とします。

では、具体的にどのような場所で障がい者歯科診療を行うのでしょう。大きく３つに分かれます。かかりつけ医である個人の歯科医院である一次医療機関、口腔保健センターや施設内の歯科である二次医療機関、国立病院や大学病院内の歯科である三次医療機関があります。

一次医療機関

主に軽度の障がいの方の診療や定期検診、メンテナンスを行います。また、そのような処置を在宅、施設への訪問診療で行う医院もあります。診療が困難な場合は、高次医療機関への紹介を行う窓口でもあります。

二次医療機関

主に中程度の障がいの方の診療を行います。一次医療機関からの紹介患者の処置も行います。

全身麻酔法が必要な方を三次医療機関へ、また治療が終了し、メンテナンスへ移行した方を一次医療機関へ紹介したりします。

三次医療機関

主に重度の障がいの方の診療を行います。全身麻酔などの全身管理が必要な処置が中心となります。治療終了後に一次医療機関、二次医療機関へ紹介することが多いです。

ただ、このような医療体制は地域格差があるのが実情です。需要が増加している今日、このような地域格差をなくすことが我々歯科医療従事者の喫緊の課題であると言えます。

さて、今まで述べたことから、障がい者歯科診療は困難で、ご本人やご家族、施設職員の方々へ大きな負担となる事が分かります。では、どうすれば良いのでしょうか。治療より負担の少ないメンテナンス（定期検診）を行い、さらには、歯科医院への来院数を減らせるように、ご自宅や施設内でのセルフケアをしっかりとしていただくことが必要ではないでしょうか。

先に述べたように、一次医療機関である近所の歯科医院では、設備やマンパワー不足で重度の障がいの方の診療が難しいのが実情です。ただ、程度にもよりますが、口腔内のチェックや口腔ケアが可能であることも多いです。幼児期などなるべく早い時期に、お近くの歯科医院を受診し、早くから歯科医院に慣れていただき、予防を行いながら、早期発見、早期治療していただくことが大事であると思います。そして、どうしても治療が困難な場合は、二次三次医療機関への窓口になっていただくことも可能です。

熊本県においては、熊本県歯科医師会にて二次医療機関として口腔保健センターを設立しております。一次医療機関では難しい静脈内鎮静法による歯科治療や専門のスタッフを揃えております。また、より多くの地域の歯科医院で障がい者歯科診療を受け入れられるように歯科医師、歯科衛生士向けの研修会や多職種の方へのセミナーなどを実施し、障がい者歯科診療の向上に努めております。また、熊本県歯科医師会のホームページにて障がい児者歯科診療対応施設等を掲載しておりますので、ぜひ参考にされてください。

障がい者の方をはじめ、多くの方が口腔の健康を守り、健やかな生活をおくれるように、我々歯科医師も問題解決に努めてまいります。

（一社）熊本県歯科医師会

口腔保健センターのご紹介

口腔保健センターは、障がい児・者歯科に特化した診療所です。
障がい者歯科に関するご相談をお受けします。

歯科医療全般	●通常の医療機関の施設・機能では、十分に治療することが困難な心身障がい児・者の方の治療を行います。 ★火曜午前中に、静脈内鎮静法下にて歯科治療を行っています★
口腔衛生指導	●口腔衛生の向上のために、歯磨き指導等様々なお話をいたします。 ●歯科診療に対する不安や恐怖心を取り除くような対応を心がけています。 ※対応困難な場合には、高次の医療機関をご御紹介することもあります。

診察日	火・木・土　※月・金は事務職員が常駐（8:30～17:15）
診療時間	10時～17時（受付は16時まで）　※予約制
住所	熊本市中央区坪井２丁目３番６号
電話	０９６－３４３－４３８２

リレー投稿 79

マラソンとの出会い

熊本市　竹下歯科医院　竹下　憲治

犬束会員よりバトンを受けました熊本市北区で開業している竹下です。

リレー投稿は私が広報担当理事の時に先生方に気軽に現況や思い出について書いて頂こうと思って企画しました。これまで繋いでいただいた先生方に感謝申し上げます。

ご存知の先生もいると思いますが、私は太っております。学生時代58kgの体重が85kgになってしまい、これはヤバいと思いながらも、歯科医師会の会務を言い訳にズボラな生活をしていました。

８年前のある日、スタッフが「みんなでリレーマラソンに参加しましょう」と言ってきました。来年の熊本城マラソンに出場すると公言（口だけ）していた私は快諾。スタッフと計10人で参加することになり、１周２㎞のコースを１週ずつ襷を繋いで走るリレーマラソンですが、心配した雨も降らず涼風の中、医院の団結力で42.195㎞に挑戦しました。第１回合志市カントリーパークリレーマラソン大会で参加チームは176チーム。走る前は、余裕で記念写真を撮影して、リラックスモードです。私以外は女性なので150位くらいになればいいね☆と、笑いながらウォーミングアップしました。プレッシャーを受けながら（笑）、少し緊張してスタートをきったのは、熊本城フルマラソンを完走した若手のスタッフでした。順調に襷を繋ぎ、いよいよ10番目に私の登場です。スタッフの声援を受けながらスタートしましたが、ノルマの２周（４㎞）は大丈夫と思っていた私の考えは甘く、小学生にも抜かれて最初の１周だけ走ってダウン。アンカーは院長である私がゴールテープを切る予定だったのに情けない。スタッフは私のせいでリタイアしないように最後の力を振り絞り激走、アンカーは中学・高校と陸上部の若手に託して、無事にゴール‼結果は176チーム中176位（まさかの最下位）でしたが、最後はファンキーモンキーベイビーズ『あとひとつ』の歌が流れる中『最後のランナー竹下歯科』と連呼され、皆さんの声援を受け、感動のゴールテープを切ることができました。タイムは４時間11分56秒。どうにか制限時間内（５時間）にゴールすることができましたが、次の日は筋肉痛で悲鳴をあげながらの診療でした。

まるで優勝したチーム？

楽しい仲間たちとゴルフ

年が明け、本番の熊本城マラソンです。初のフルマラソンで緊張しながらスタートしましたが、結果は途中の関門でアウトとなり、強制的にバスに乗せられ（涙）、一緒に参加したスタッフの完走をゴール地点で待機。翌年のマラソンは減量にも成功して無事に完走（完歩）？しました。その後もいろんな大会に参加して健康ランナーとして、のんびり走っていますが、10㎞マラソン大会で、スタート地点で並んでいると隣に元気そうなおじいちゃん。話を聞くとなんと後期高齢者（75歳）で、「走る度にどんどん遅くなるばっかり」と嘆かれるが、予想タイムは55～56分かな？…俺よりも早いじゃないかよ⁉最近は、コロナを言い訳にマラソンはご無沙汰しておりますが…私よりも一干支違う山鹿の爺ちゃんゴルファーに負けないように、楽しいメンバーたちと下手なゴルフを頑張っています！次はリレー投稿第１回投稿者の玉名郡市の春野惟一会員へ繋ぎます。

熊歯乙女のひとりごと㉚

私の母

熊本市　ひまわり歯科　伊藤 道子

歯科大学を卒業して、33年の長い月日が流れました。熊本市民病院歯科から始まり、夫の診療所勤務、そして開業。幼子をかかえながらの開業の計画、設計、各種登録など、経験したことのない煩雑な手続き。自身の診療所では、今までの勤務医という立場と院長という立場の違い、責任を一手に背負う緊張とプレッシャーを感じ、私に足りない知識・技術を求め研修会にも参加しました。やはり人生は、一生勉強・生涯学習だとしみじみ感じていると、ふと私の母の普段生活する姿を思い浮かべました。

母は、昭和12年生まれ、天草の出身で、女性が大学に進学しないような時代に、教育熱心だった祖父の影響で熊本大学法文学部英文科へと進学しました。本来母は理数系に興味があり得意でしたが、その頃は今でいう「リケジョ」理系女子という風潮は全くなく、祖父の反対で泣く泣く英文科で学び、英語力を発揮できる熊本大学医学部の研究室に就職・勤務しました。

就職直後に父と出会い４人の子どもの母となり、子育て・教育・進学と父の開業・クリニック運営で手いっぱいの生活。さらに、５人目の大きな子どものような父のお世話は私達のそれより大変だったと思います。私達兄弟は、普段から数学の問題に向かい楽しそうに数式を解いて家族の誰よりも勉強している母の姿を見て育ちました。公文式の英語は３回制覇し、数学は２回目で現在高校生レベルを勉強中。公文式を知っている方はご存知でしょうが、中学校のレベルまでは私達でも何

母と私の娘達と公文式のプリント

となく解けるのですが、高校レベルになるともう忘れてお手上げ状態です。ところが母は、「数式に負けたくないのよね」と常に挑戦している姿があるのです。加えて、解けた問題を納得するまで反復します。恐ろしいほどの向上心とオタク張りの理系脳があっても、このような86歳高齢者は滅多にいないのではないかと、我が母ながら感心しています。

その影響もあり、私達兄弟はもちろん、私や私の兄弟の子ども達も公文式に通うことになり、勉強する習慣と勉強に対する忍耐強さを得たことにはとても感謝しています。

私は今まで診療と子育てと家事に没頭した生活でしたが、私の子育ては昨年子供達が社会人になったことでひと段落しました。現在の診療以外の私の生活は、週１回英会話を習い、週３回のジム通い、月１回のボランティア活動で結構忙しい毎日を過ごさせていただいています。いつまでも可愛くて尊敬する母を大切にし、お手本に生きていこうと思っています。

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

池松　恵実
（イケマツ　エミル）

熊本市西区春日７-21-3

フラワー歯科こども歯科クリニック

①予防歯科　セルフオーラルケア　小児Ⅰ期矯正治療
②医療従事者と患者が互いに口腔内に関心を持ち、より健康に近づく又は維持するためのやりとりが活発にできる事。
③患者さんを自身の家族のように親身になって考えます。
②で記した事を達成できるよう常に学び続け知識のアップデートをします。
④女性・母親ならではの共感力を活かし、時代の変化に対応しながら細くても歯科医師業を永く続けていきたいと思っています。

新中須　剛
（シンナカス　ツヨシ）

熊本市西区横手３-1-22

新中須歯科医院

①開業したてなので、新規個別指導が気になっています。
②予防歯科をメインにした歯牙の可能なかぎりの保存を目指す診療がしたいです。
③特に思いつきません。
④患者教育を工夫し、PMTC, SPTの患者を増やして、患者のデンタルIQ向上と残存歯数の向上を目指します。

中西　正光
（ナカニシ　マサミツ）

熊本市中央区安政町6-2
クオリア安政町４Ｆ

熊本サニースマイル矯正歯科

①育児
②専門性を持った医療
③アライナーでの矯正治療に特化している
④夫婦ゲンカせずに子育てに集中できるような環境を作ります。

松田　智也
（マツダ　トモヤ）

合志市須屋2972-1

まつだ歯科クリニック

①コロナ感染症の行く末
②患者さんの悩みに寄り添うカウンセリング、適切な診査診断、常にアップデートされた最先端治療、効果的な予防
③不安や緊張を抱えた患者さんに対し、密度の高いカウンセリングを行い安心と納得のいく治療を提供します。
④子供も多い地域での開院ですので、予防に重きを置き熊本の、う蝕発生率減少に貢献していきたいと思っております。

会　務　報　告

自　令和５年４月23日
至　令和５年５月21日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	４月26日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	宇治常務理事
		第174回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本第二合同庁舎）	椿副会長
		第24回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）関係機関団体からの役員等の推薦依頼 【議　　題】 （１）講師派遣依頼（２）歯科特殊健康診断の受入れ （３）定時代議員会日程及びタイムスケジュール	伊藤会長他17役員
	27日	【書面決議】さわやか長寿財団理事会	伊藤会長
	５月９日	日歯次期執行部役員（理事）予定者打合せ会（アルカディア市ヶ谷）	伊藤会長
	11日	月次監査　４月末会計現況監査	増田・水上監事
	13日	日本大学歯学部同窓会熊本県支部懇親会（熊本市）	伊藤会長
		神奈川歯科大学同窓会熊本県支部総会・懇親会（熊本市）	椿副会長
	17日	支払基金審査運営協議会（支払基金、診療所）	【Web】伊藤会長【基金】椿副会長
		第37回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）関係機関・団体への会費等の納入 （３）歯周病啓発チラシ　ほか	伊藤会長他全役員
	18日	県交通安全推進連盟総会（熊本テルサ）	岡﨑事務局長
社会保険	５月15日	社会保険医療担当者監査（熊本第二合同庁舎）	舩津理事、中村委員
	18日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	井口委員
地域保健Ⅰ	５月10日	平田機工㈱歯科セミナー（平田機工㈱）	髙水間理事
	12日	地域保健委員会Ⅰ （１）歯の祭典（２）高齢者のよい歯のコンクール県大会審査	松本副会長、髙水間理事他４委員
地域保健Ⅱ	４月24日	令和５年度　健康づくり推進課関連事業打合せ （１）介護者歯科実技研修事業	松本副会長、長野常務理事、町田理事
	28日	県・市認知症対策課打合せ （１）認知症対応力向上研修会（２）開催方法（３）契約内容　ほか	松本副会長、牛島専務理事、長野常務理事、町田理事
	５月９日	地域保健委員会Ⅱ （１）令和５年度事業	松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他４委員
	10日	モデル地域説明会（荒尾）（荒尾商工会議所）	松本副会長、町田理事
	15日	【Web】連携室事業打合せ（各診療所） （１）各郡市モデル地域の進め方（２）年間スケジュール	松本副会長、長野常務理事、町田理事
広　報	５月12日	【Web】広報委員会 （１）熊歯会報６月号・第１校目校正	神﨑理事、秋山委員長他２委員 【Web】他３委員
学校歯科	４月24日	令和５年度　健康づくり推進課関連事業打合せ （１）むし歯予防対策事業	石井理事
	27日	新規採用養護教諭研修（県教育センター）	髙田委員長
	５月10日	学校歯科委員会	宮井副会長、石井理事他５委員
	12日	【Web】菊池郡市歯科医師会学校歯科に関するWeb研修会	髙田委員長
	18日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	牛島専務理事
	19日	県高等学校保健会第１回理事会（東稜高等学校）	宮井副会長
医療対策	４月24日	保健所との連絡協議会（熊本市）	永松常務理事、椿理事
	５月15日	医療対策委員会 （１）事例報告検討会（２）九州各県歯科医療安全対策担当者会 （３）委員提出協議題　ほか	永松常務理事、椿理事、町田委員長他全委員
	19日	嘱託弁護士・損保ジャパンとの協議会（熊本市）	伊藤会長、牛島専務理事、永松常務理事、椿理事、町田委員長
センター・スペシャルニーズ	５月９日	日本障害者歯科学会モデル事業担当者連絡会（口腔保健センター） （１）モデル事業様式と活用法（２）モデル事業研究の実施状況・問題点等報告	椿センター長、我那覇委員長、山川指導医
	12日	センター定例ミーティング（口腔保健センター）	椿センター長、五島理事

所管	日付	摘要	出務者
厚生・医療管理	4月27日	歯科衛生士確保事業打合せ	工藤理事、牧委員長
	5月18日	【Web】厚生・医療管理委員会（各診療所） （1）歯科衛生士復職支援と衛生士バンク（2）県委託歯科衛生士確保事業 （3）医療管理講演会　ほか	宮井副会長、工藤理事、牧委員長他全委員
	20日	歯科衛生士会との意見交換会	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事、永松常務理事、工藤理事、牧委員長
医療連携	4月24日	令和5年度　健康づくり推進課関連事業打合せ （1）医科歯科病診連携推進事業（がん）（2）ヘル歯―元気8020支援事業	三森理事
学　院	4月25日	学院学校評価委員会・教育課程編成委員会	伊藤会長、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長他全委員
	26日	【Web】区役所実習打合せ	東学院長
	27日	学院臨床実習施設打合せ会	伊藤会長、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長他全委員
	28日	【Web】社会福祉施設打合せ	東学院長
国保組合	4月27日	第1回国保理事会 （1）年間行事予定（2）文書廃棄	伊藤理事長他全役員

お知らせ

令和5年度 第1回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り令和5年度第1回臨時代議員会を開催いたしますのでお知らせします。

記

日時：令和5年7月15日(土) 午後4時～
会場：熊本県歯科医師会館　4階ホール

［報　　告］
役員紹介

［議　　事］
第1号議案　裁定審議委員会委員の委嘱に関する件
第2号議案　選挙管理委員会委員、同予備委員の委嘱に関する件
第3号議案　災害備蓄倉庫及び一般倉庫の設置の承認を求める件

［協　　議］
1　時局対策について
2　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

◎令和５年８月より
最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
80才まで継続可能になります！

１年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2022年の還元率54%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

めざすなら、
いま「しか」ない!?

OPEN CAMPUS

福岡歯科大学 オープンキャンパス

7/29 [sat]

事前申込制

両日とも
時間
10:00~15:00

10/14 [sat]

10/14(土)は学園祭と同時開催

申し込みは裏面をご覧ください。

博多駅 ⟷ 本学
無料送迎バス運行!

学校法人 福岡学園
福岡歯科大学
学務課入試係 〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
TEL.092-801-1885 FAX.092-801-0427
福岡歯科大学 今すぐ検索!

SNSでチェックしてみよう!
YouTube Instagram Twitter LINE

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
July 2023 No.805

8020運動からはじめる 笑顔ヘルC

主な行事予定 8 August

1日(火)	第２回常務理事会
15日(火)	第３回常務理事会
20日(日)	第３回体験入学（学院校舎）
22日(火)	第４回理事会
27日(日)	合同就職説明会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県立大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

いい笑顔は BEAUTY× TEETH オーラルケアから

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント

Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください

編集者のつぶやき

６月いっぱいで今期の委員会が終了しました。自分もなんやかんや６年ほど委員会を務めさせていただきました。まったく仕事の内容が分からないまま委員会に入り、先輩方に教えられ少しずつやり方を覚えながらなんとかやってきましたが今年７月に卒業になりました。これらの経験を活かして地元でも頑張っていきたいと思います。長い間、ありがとうございました。

(M. K)

■発行日／2023年7月5日発行 ■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷